

保健だより

2015年12月1日（火）発行

寒くなりました。感染症が流行する季節です。相模原市内では感染性胃腸炎や溶連菌感染症等が流行していますが、サンガこども園では今のところ流行している感染症はありません。しかし、今後、年末年始にお出かけが多くなり感染の機会が増えますのでお子さんの体調には十分ご注意ください。

〒252-0326 相模原市
南区新戸5195-4
サンガこども園
電話046-255-0148



全国的にはRSウイルス感染症が流行しています。この感染症は乳児が感染すると入院になることがあり、特に3ヶ月未満の赤ちゃんが感染すると、呼吸状態が悪くなって、細気管支炎や肺炎を発症し、重症の赤ちゃんでは人工呼吸器による治療が必要な場合もあります。

インフルエンザ等のウィルスを広げないためには・・・

- ① セキやクシャミをする時は、ティッシュで鼻や口を押さえましょう。
- ② ティッシュがなければ、服のそでを使って鼻や口を押さえましょう。
- ③ 使ったティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- ④ セキやクシャミをした後は、石鹸と流水で手を洗いましょう。又は、アルコール入り消毒液を使いましょう。
- ⑤ セキやクシャミが出るときは、マスクをしましょう。



ペットからうつる病気(動物由来感染症)

ペットブームにともない、ペットから感染する病気が注目されています。その背景には気密化された室内で飼われ、人との濃厚な接触が増加していることが考えられています。日本国内で発生している主なもの大半は犬とネコから感染し、ハムスターやウサギなどからも感染します。接触、かみつき、ひっかきによる場合や、動物の排泄物（フンや尿）などが人の手について口に入る場合、ノミ、シラミ、蚊、ダニなどを介して感染する場合など多岐多様な感染経路があります。



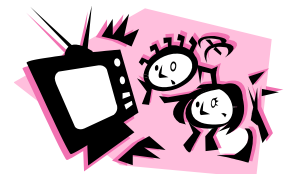
特に健康な犬やネコの口の中に常にある細菌から感染する「パスツレラ症」は近年増加しており、気密化された部屋では、この細菌を吸い込むことにより、人に呼吸器の病気などをひきおこす場合があります。

しかし、飼育環境を清潔に保ち、動物との過度な接触はせず、触った場合は手洗い、消毒をし、うがいをすれば防げる感染症がほとんどです。

テレビについて

12月は何かと子ども向けテレビ番組が多くなり、ついついテレビに「子守り役」をさせがちです。現代の生活でテレビは家族の一員のような存在でもありますが、良い点もあれば、困ることもあります。

子ども達が動物や乗り物を知ったり、画面に合わせて歌ったり踊ったりできます。しかし、テレビとは会話ができません。一方的に情報や知識を受け入れるだけです。食事の時などテレビを見ていると家族の会話もありません。



～テレビの見せ方～

- ① お子さんがテレビにクギ付けになっていれば、お忙しい時など手が省けますが、時々、お子さんと一緒にテレビをご覧になって、お子さんと会話をするようにしましょう。
- ② テレビを見ながらの食事では、会話をするよう気をつけましょう。
- ③ 一度にテレビを見るのは30分程度にし、テレビ以外の遊びもさせ、散歩に出かけることも大切です。